

認定権者記載欄		

様式第5-(イ)-⑦

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (イ-⑦)

年 月 日

(あて先) さいたま市長

(申請者)

住所 \_\_\_\_\_

氏名 ※自署でない場合は実印を押印してください \_\_\_\_\_

(名称及び代表者の氏名)

電話番号 \_\_\_\_\_

私は、表に記載する業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、\_\_\_\_\_ (注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

(表)


※表には営んでいる事業が属する業種（日本標準産業分類の中分類番号と中分類業種名）を全て記載（当該業種は全て指定業種であることが必要）。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

売上高等

(イ) 最近1か月間の売上高等

$\frac{C-A}{C} \times 100$	減少率	% (実績)
A : 申込み時点における最近1か月間の売上高等	_____	円
B : Aの期間前2か月間の売上高等	_____	円
C : 最近3か月間の売上高等の平均	_____	円
$\frac{(A+B)}{3}$		

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合であって、業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合に使用します。

(注2) \_\_\_\_\_には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(注3) 企業全体の売上高等を記載。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

経商経第 \_\_\_\_\_ 号  
年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間： \_\_\_\_\_ 年 月 日から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで

さいたま市長 清水 勇 人